この電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品　　**2024年3月改訂（第5版）
*2019年9月改訂（第4版）

製造販売承認番号：16100AMY00295000
製造販売認証番号：305AAEZX00058000

**7UX-Ⅱ，6-Ⅱ，5L，5UX，4，3-Ⅱ，GPS，LN

**　クラスⅡ汎用検査用シリーズ
pH キット・白血球キット・亜硝酸塩キット・総蛋白キット・
グルコースキット・ケトン体キット・ウロビリノーゲンキット・潜血キット

Combur テスト

【全般的な注意】

1. 本品は体外診断用であり、それ以外の目的には使用しないでください。
2. 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状やほかの検査結果などと併せて、担当医師が総合的に判断してください。
3. 電子化された添付文書に記載された使用目的及び用法・用量に従って使用してください。記載された使用目的及び用法・用量以外での使用については、測定結果の信頼性を保証しかねます。

【形状・構造等（キットの構成）】

1. 製品と測定項目の組合せ

**Combur テストは、スティックに次の各試験紙を組み合わせて貼付した尿試験紙であり、最大 10 項目の検査結果からは糖代謝、腎機能、肝機能、酸塩基平衡、尿路感染に関するスクリーニングを短時間で簡単に行うことができます。本電子化された添付文書は 8 項目について記載していますので、ご使用の製品（試験紙）の該当部分をご確認のうえ、正しくご使用ください。

**

製品名		測定項目								包装（枚）
販売名（シリーズ）	識別呼称	pH	白血球	細菌	たん白質	ブドウ糖	ケトン体	ウロビリノーゲン	潜血	
Combur テスト	7UX-Ⅱ	■	■	■	■	■	■		■	100
	6-Ⅱ	■			■	■	■	■	■	100
	5L		■	■	■	■		■	■	50
	5UX		■	■	■	■			■	100
	4				■	■		■	■	50
	3-Ⅱ	■			■	■				50
	GPS				■	■			■	50
	LN		■	■						50

2. 構成製品

Combur テスト

**(1) pH 測定用パッド
尿中 pH 測定用試験紙
ブロムチモールブルー
メチルレッド
**o-クレゾールフタレイン

(2) 白血球測定用試験紙
尿中白血球測定用試験紙
3-（N-トルエンスルホニル-L-アラニロキシ）-インドール
2-メトキシ-4-(N-モルホリノ)-ベンゼンジアゾニウムテトラクロロジンケイト

(3) 細菌測定用試験紙
尿中細菌測定用試験紙
3-ヒドロキシ-1，2，3，4-テトラヒドロ-7，8-ベンゾキノリンスルファミン

(4) たん白質測定用試験紙
尿中たん白質測定用試験紙
3’，3’’，5’，5’’-テトラクロロフェノール-3，4，5，6-テトラブロムスルホフタレイン

(5) ブドウ糖測定用試験紙
尿中ブドウ糖測定用試験紙
テトラメチルベンチジン
グルコースオキシダーゼ
ペルオキシダーゼ

**(6) ケトン体測定用パッド
尿中ケトン体測定用試験紙
ニトロプルシドナトリウム

(7) ウロビリノーゲン測定用試験紙
尿中ウロビリノーゲン測定用試験紙
4-メトキシベンゼンジアゾニウム四フッ化ホウ酸塩

(8) 潜血測定用試験紙
尿中潜血測定用試験紙
テトラメチルベンチジン
2，5-ジメチル-2，5-ジヒドロパーオキシヘキサン

【使用目的】

**尿中の pH・尿中の白血球・尿中の細菌・尿中のたん白質・尿中のブドウ糖・尿中のケトン体・尿中のウロビリノーゲン・尿中の潜血の測定

【測定原理】

**

測定項目	測定原理
pH	pH 指示薬法。pH5～9で橙色から緑色を経て青色を呈します。
白血球	尿中顆粒白血球のエステラーゼ活性を、酵素反応を組み入れたアゾ・カップリング反応により、尿中の白血球として検出します。
細菌	尿中の細菌が硝酸塩を亜硝酸塩に還元する能力を利用し、亜硝酸塩をグリース反応により検出します。
たん白質	pH 指示薬のたん白誤差法により検出します。
ブドウ糖	酵素法(GOD/POD 法)により検出します。
ケトン体	ニトロプルシドナトリウム法により検出します（アセト酢酸及びアセトンがアルカリ性媒体中でニトロプルシドナトリウムと反応し赤紫色の複合物を形成します）。
ウロビリノーゲン	アゾ・カップリング反応により検出します。
潜血	ヘモグロビン又はミオグロビンの偽ペルオキシダーゼ作用により検出します。

【操作上の注意】

1. 測定試料の性質、採取法

(1) 測定試料：尿
(2) 採取時の注意
1) 採尿容器は、消毒剤・洗剤などを完全に洗い落としたものを使用してください。できれば使い捨ての採尿容器をお勧めします。
2) 遠心していないよく混和された新鮮な尿を使用してください。
3) 検体には防腐剤を添加しないでください。
4) 採尿後 2 時間以上経過した尿や直射日光下に置かれた尿は使用しないでください。
5) 細菌検査は膀胱内に 4～8 時間以上滞留した尿を採取してください。それには早朝第 1 回目の中間尿を使用することをお勧めします。また、その際、採尿前夜の食事で適当量の野菜を摂るように指示してください。
6) 治療のための薬剤及びその代謝物の影響が考えられる場合は、治療を中止した上で検査を行ってください。

2. 妨害物質・妨害薬剤

**治療薬と内因性物質について、測定結果への影響を検証しました。

すべての検証はそれぞれの測定項目について陰性、及び陽性と判定される最小濃度になるよう調製した尿検体を使用して行われました。

下表に掲げる濃度までは、測定結果に影響を及ぼしていませんでした。

**	項目	薬剤名	測定に影響を及ぼさない濃度	左記記載濃度以上に存在する場合の測定結果
	白血球	N-アセチルシスティン	80 mg/L	偽陰性
		アモキシリン	8,000 mg/L	偽陰性
		フェナゾピリジン	5 mg/L	偽陰性　または　判定不能※1
		サリチル酸	5,000 mg/L	偽陰性
	細菌	アスコルビン酸	1,000 mg/L	偽陰性
		フェナゾピリジン	10 mg/L	判定不能※1
		サリチル酸	90 mg/L	偽陰性
	たん白質	フェナゾピリジン	50mg/L	偽陰性　または　判定不能※1
	ブドウ糖	アモキシリン	8,000 mg/L	高値検体の正常化
		アスコルビン酸	750 mg/L	高値検体の正常化
		レボドパ	1,000 mg/L	高値検体の正常化
	ケトン体	N-アセチルシスティン	110 mg/L	偽陽性
		レボドパ	1,000 mg/L	偽陽性
		メチルドーパ	750 mg/L	偽陽性
		フェナゾピリジン	100 mg/L	判定不能※1
	ウロビリノーゲン	フェナゾピリジン	50 mg/L	判定不能※1
	潜血	アモキシリン	2,250 mg/L	偽陰性
		アスコルビン酸	500 mg/L	偽陰性
		ガバペンチン	10,000 mg/L	偽陰性
		イブプロフェン	750 mg/L	偽陰性

※1　陰性または弱陽性の結果は、検体の色調の影響により正確に判定できない可能性があります。

**内因性物質について、下表に掲げる濃度までは、測定結果に影響を及ぼしていませんでした。

**	項目	妨害物質名	測定に影響を及ぼさない濃度	左記記載濃度以上に存在する場合の測定結果
	白血球	ビリルビン	10 mg/L	判定不能※2
		塩化カルシウム	2,650 mg/L	偽陰性
		ブドウ糖	50,000 mg/L	偽陰性
		ウロビリノーゲン	100 mg/L	判定不能※2
	細菌	ビリルビン	10 mg/L	判定不能※2
		クレアチニン	11,500 mg/L	偽陰性
		ウロビリノーゲン	100 mg/L	偽陽性　または　判定不能※2
	たん白質	塩化アンモニウム	15,166 mg/L	偽陰性
		ビリルビン	200 mg/L	偽陰性 または 判定不能
		クレアチニン	9,551 mg/L	高値化
		ヘモグロビン	100 mg/L	偽陽性　または　高値化
		尿素	89,130 mg/L	高値化
		ウロビリノーゲン	500 mg/L	判定不能※2
	ブドウ糖	尿素	115,000 mg/L	高値検体の正常化
		ウロビリノーゲン	500 mg/L	高値検体の正常化　または　判定不能※2
	ケトン体	ビリルビン	750 mg/L	判定不能※2
		ウロビリノーゲン	1,000 mg/L	偽陰性　または　判定不能※2
	ウロビリノーゲン	ビリルビン	10 mg/L	判定不能※2
		亜硝酸塩	30 mg/L	高値検体の正常化
	潜血	ウロビリノーゲン	80 mg/L	偽陰性　または　判定不能※2

※2 陰性または弱陽性の結果は、検体の色調の影響により正確に判定できない可能性があります。

	測定項目	偽陽性・偽陰性・異常反応・その他
	pH	検体を長時間放置すると、細菌による尿素の分解によって尿がアルカリ性(pH＞7)になることがあります。
**	白血球	偽陽性:　尿中にイミペネム、メロペネム、クラブラン酸(抗生物質)が存在する場合又は尿保存剤のホルムアルデヒドで生じることがあります。 偽陰性:　尿中に 500 mg/dL 以上のたん白質や 5,000 mg/dL 以上のブドウ糖が存在する場合、セファレキシンやセファロスポリン系抗生物質を連日高濃度で投与されている場合、保存剤としてホウ酸が使用されている場合に生じることがあります。 ビリルビン、ニトロフラントイン(化学療法剤)で色調表と異なった呈色をすることがあります。
**	細菌	偽陽性:　尿の pH が酸性の場合、尿を赤色に着色する薬剤(フェナゾピリジンなど)で生じることがあります。 偽陰性:　尿中に大量のアスコルビン酸が存在している場合に検出感度を低下させます。 頻繁な排尿を伴う強い利尿、硝酸塩を含む食物の摂取不足、膀胱内での尿の貯留時間(4-8 時間)が十分でない場合に生じます。 抗生物質及び化学療法剤で処置している場合は、尿中細菌が減少又は無菌になることがあり、亜硝酸塩形成は起こりません。確実に細菌を検出するためには、検査の 3 日前には抗生物質などの投与を中止してください。 大気中の窒素酸化物は細菌試験紙部分の安定性に影響を与える可能性があります。
*	たん白質	偽陽性:　ポリビニルピロリドン輸液後、及び採尿容器に消毒剤(第 4 級アンモニウム、クロルヘキシジン)や洗剤が残存する場合に生じます。
**	ブドウ糖	偽陽性:　採尿容器に過酸化物を含有している洗浄剤やほかの酸性化洗剤が残存している場合に生じます。 偽陰性:　尿中に高濃度(～750 mg/L)のアスコルビン酸(ビタミン C)が存在する場合でもブドウ糖 100 mg/dL 以上の濃度では偽陰性を示すことはほとんどありません。 尿中の pH、比重、ケトン体に影響されません。
	ケトン体	偽陽性:　カプトプリル、2-メルカプトエタンスルホン酸ナトリウム、SH 基を含む物質により生じます。 フェニルケトンとフタレインの混合物は試験紙を赤色に呈します。
**	ウロビリノーゲン	偽陽性:　尿の pH が酸性の場合、尿を赤色にする薬剤(フェナゾピリジンなど)で生じることがあります。 偽陰性:　尿保存剤のホルムアルデヒド濃度が 200 mg/dL 以上、または亜硝酸塩濃度が 3 mg/dL 以上の場合は反応を阻害します。 大量のヘキサメチレンテトラミン投与中やホルムアルデヒド中毒の場合に阻害作用が生じます。直射日光のあたる所に放置すると、酸化により偽陰性の原因となります。 ビリルビンが高濃度に存在する場合、試薬部分が一瞬黄色に発色し、約 60 秒後から徐々に緑色から青色に呈色することがあります。 Ehrlich 試験に知られている阻害物質の影響は受けません。
**	潜血	偽陽性:　採尿容器に過酸化物を含有している洗浄剤やほかの酸性化洗剤が残存している場合に生じます。 偽陰性:　尿保存剤のホルマリンを使用した場合に反応が阻害されることがあります。

【用法・用量(操作方法)】

1. 試薬の調製方法

試験紙はそのままご使用ください。

2. 試薬の安定性

未開封時:使用期限まで安定

開封後の注意:試験紙は必要な枚数だけ取り出して直ちに密栓してください。

開封後は早めにご使用ください。

3. 別途必要な器具・器材・試薬

・尿コップ及びティッシュペーパー
・ストップウォッチ又は秒針のついている時計

4. 操作方法

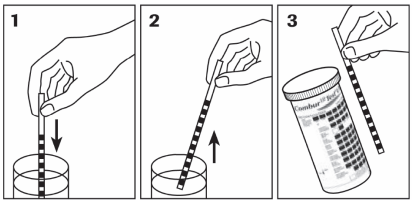
正しい結果を得るために操作方法、測定時間を守ってください。

**(1) 遠心していない新鮮尿を使用します。採尿後 2 時間以上経過している検体は使用しないでください。尿検体は検査前に室温に戻し、よく混和してください。
試験紙を容器から 1 枚取り出し、容器の蓋を直ぐに閉めます。

(2) 試験紙(テスト部分すべて)を手早く尿中に浸します(1 秒以内)。

(3) 余剰尿を尿カップの縁で取り除き、試験紙を水平に静置します。

(4) 持ち手部分を上に持って試験紙を釣り下げるようにして容器に貼付してある色調表と比較し判定してください。各測定項目は 60 秒で判定してください(白血球測定用試験紙は 60～120 秒で判定します)。各試験紙部分周囲の呈色や 2 分以上経過してから得られた色調は診断に使用しないでください。



【測定結果の判定法】

1. 測定結果の判定

**

測定項目		比色段階				
pH		5	6	7	8	9
白血球		陰性	約 10～25	約 75	約 500 個/μL	
細菌		陰性	陽性			
たん白質		陰性 (－)	15 (±)	30 (1+)	100 (2+)	500 mg/dL (3+)
ブドウ糖		正常 (－)	50 (±)	100 (1+)	300 (2+)	1,000 mg/dL (3+)
ケトン体		陰性	5～40 (1+)	40～100 (2+)	100 mg/dL 以上	
ウロビリノーゲン		正常	1	4	8	12 mg/dL
潜血	赤血球	陰性	約 5～10	約 20	約 50	約 250 個/μL
	ヘモグロビン	陰性	約 0.03	約 0.06	約 0.15	約 0.70 mg/dL
	定性記号	(－)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)

たん白質、ブドウ糖、潜血の 1+の判定段階濃度は、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)の表示の統一化に準拠しています[1)]。

2. 判定の解釈

測定項目	判定の解釈
pH	pH5～9 の範囲を判定できます。
白血球	顆粒白血球のエステラーゼと特異的に反応し、尿中の赤血球、微生物、トリコモナスなどと反応しません。 尿中白血球約 10 個/μL より検出します。
** 細菌	尿中の細菌の存在で試験紙部分が桃色に呈色します。わずかに呈色した場合も陽性と判定します。 尿路感染症の原因となる細菌のほとんどが大腸菌、クレブシエラ、エンテロバクター、プロテウス等のグラム陰性杆菌です。本品はグラム陰性杆菌が尿中の硝酸塩を亜硝酸塩に還元する作用を利用し検出しています。 しかし、尿路感染症の原因の一部を占めるエンテロコッカス属およびブドウ球菌などは、尿中の硝酸塩を亜硝酸塩に還元しないため、検出することができません[3)]。
* たん白質	アルブミンに対して鋭敏に反応します。 キニーネ、キニジン、クロロキン、トルブタミドは反応しません。 pH9 までのアルカリ尿には影響されません。 たん白質(アルブミン)14 mg/dL より検出できます。
* ブドウ糖	グルコースオキシダーゼ(GOD)法によって D-グルコースと特異的に反応します。 ブドウ糖 30 mg/dL より検出できます。
ケトン体	尿中に生じる物質でアセト酢酸、アセトンだけが特徴のある呈色反応を示します。 アセト酢酸約 5 mg/dL、アセトン約 40 mg/dL より検出できます。
* ウロビリノーゲン	ウロビリノーゲンがジアゾニウム塩と特異的に反応し、アゾ色素を形成します。 ウロビリノーゲン 1.6 mg/dL より検出できます。
* 潜血	色調表は赤血球とヘモグロビンに分けられています。 尿中に無傷赤血球が存在する場合、試験紙は緑色のスポット状に、ヘモグロビン、溶血赤血球、ミオグロビンが存在する場合は均一な緑色に呈色します。
潜血 赤血球	赤血球含有量 6 個/μL より検出でき、緑色のスポット状に呈色します。
潜血 ヘモグロビン	赤血球含有量約 10 個/μL(ヘモグロビン約 0.03 mg/dL)より検出でき、緑色に呈色します。

3. 結果の判定にかかる注意

**

測定項目	判定にかかる注意
pH	新鮮尿の pH 値は健常人の場合は広範囲(pH4.5～8)に変化しますが、通常 pH は 5～6 です。
白血球	60 秒後に陰性又は約 10～25 個/μL の明瞭な判定が難しい場合には、更に 60 秒後に判定を行うと容易になります。
細菌	試験紙部分が直ちに、又は遅くとも 30～60 秒後に桃赤色に呈色すれば有意細菌尿とします。 尿中の細菌数、及び硝酸塩含有量は変動するので、1 回の陰性結果では尿路感染症を否定できません。 亜硝酸塩を生成しない病原性微生物が存在している可能性もあるので、繰り返し検査の結果が陰性であっても、尿路感染症を否定できません。
たん白質	健常人でも激しい運動後などで生理的たん白尿として検出されることがあります。
ケトン体	絶食状態、低炭水化物によるダイエット、あるいは高たん白栄養食や断食、発熱、妊娠悪阻によりケトン体が検出されることがあります。
ウロビリノーゲン	正常の場合は呈色しないか、1 mg/dL 色調以下の呈色を示します。 完全陰性の判定はできません。
潜血	女性において、月経前後 3 日間は、誤った結果を生じることがあります。 そのほか、激しい運動後などでも陽性になることがあります。

本製品はスクリーニング検査用の試薬です。
測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状やほかの検査結果などと併せて、担当医師が総合的に判断してください。

【性能】

1. 性能

(1) 感度試験

**1) pH 測定用パッド

**pH 標準尿(pH6.0, 7.0 及び 9.0)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

2) 白血球測定用試験紙

白血球を含まない尿及びズブチリシン標準溶液(6.7, 11.2 及び 56 U/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

3) **細菌測定用試験紙**
陰性尿(供試尿)及び陽性尿(亜硝酸ナトリウム標準尿、亜硝酸イオンとして 0.05 mg/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

4) **たん白質測定用試験紙**
供試尿及びたん白標準尿(30, 100 及び 500 mg/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

5) **ブドウ糖測定用試験紙**
ブドウ糖標準尿(正常濃度, 50, 100, 300 及び 1,000 mg/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

6) **ケトン体測定用パッド
ケトン体を含まない尿及びアセト酢酸標準溶液(アセト酢酸濃度 10 及び 150 mg/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

7) **ウロビリノーゲン測定用試験紙**
ウロビリノーゲン正常尿及びウロビリノーゲン標準溶液(1, 4, 8 及び 12 mg/dL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

8) **潜血測定用試験紙**
赤血球標準尿(尿中赤血球濃度正常, 10, 50 及び 250 個/μL)を用いて、【用法・用量(操作方法)】の記載に従い試験を行うとき、その色調表に設定された各段階が明確に識別できます。

(2) 正確性試験
すべての試験紙は、感度試験と同様に操作し試験を行うとき、その対応する色調表の色調と一致します。

(3) 同時再現性試験
すべての試験紙は、感度試験と同様に操作する試験を 3 回以上行うとき、同一の成績を示します。

2. 相関性試験成績

	測定項目	測定原理		検体数	一致率(%)
		対照法 他社試験紙	Combur テスト		
**	pH	pH 指示薬法	pH 指示薬法	149	100
	白血球	計算盤法 尿沈渣法	酵素法を組み入れたアゾ・カップリング反応	50 160	68.0 69.0
	細菌	Griess 反応 培養法	Griess 反応	64 64	98.0 92.2
	たん白質	pH 指示薬のたん白誤差法	pH 指示薬のたん白誤差法	100	50.0
	ブドウ糖	ヘキソキナーゼ法	酵素法(GOD/POD 法)	500	73.4
**	ケトン体	ニトロプルシドナトリウム法	ニトロプルシドナトリウム法	150	99
	ウロビリノーゲン	Ehrlich 反応 Ehrlich Aldehyde 反応による試験管法	アゾ・カップリング反応	50 50	60.0 100.0
	潜血	偽ペルオキシダーゼ反応	偽ペルオキシダーゼ反応	100	53.0

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 取扱い上(危険防止)の注意

(1) 検体及び本品の取扱いには、使い捨て手袋、実験着などの保護衣及び保護用眼鏡を着用するなど、人体に直接触れないように注意してください。また、測定終了後はよく手を洗ってください。

(2) 検体をこぼした場合は、次亜塩素酸剤(有効塩素濃度 1,000 ppm、0.1%)などの消毒液を使用してじゅうぶんに拭き取ってください。なお、拭き取る際には、ゴム製の手袋などにより手を保護してください。

(3) 検体及び本品を取り扱う場所では飲食又は喫煙をしないでください。

(4) 検体は感染の危険性があるものとして、各施設の安全規定に従って取り扱ってください。

(5) 容器のふた内部には無毒の吸湿剤が含まれていますが、もし、口の中に入れてしまった場合は大量の水でよくすすいでください。

2. 使用上の注意

(1) 感度の低下を防ぐために湿気、直射日光や強い光、熱を避けてください。

(2) 試験紙は必要な枚数だけを取り出して直ちに密栓してください。空気中の湿気により、試験紙が変質したり誤った結果を招くことがあります。

(3) 試験紙は必ず貯蔵方法に従って保存し、凍結させるなど指定の条件以外で保存したものや使用期限を過ぎたものは使用しないでください。また、ほかの容器に移しかえることは避けてください。

(4) 試験紙及び容器はほかの目的に転用しないでください。

(5) 試験紙及び容器に物理的な異常がないかチェックしてください。

(6) 試験紙の試験部分は汚染を防止するため、直接手で触れないでください。

(7) 試験紙を裁断するなど手を加えないでください。

(8) 試験紙の保存法が完全であれば変色することはありませんが、変色している場合は使用しないでください。

(9) 試験紙は開封又は取り出す時に微生物の汚染を避けてください。

(10) すべての試験紙、採尿容器は揮発性薬品や強酸性、アルカリ性薬品による汚染を避けてください。

(11) 試験結果の判定は明るい場所で実施してください。

3. 廃棄上の注意
使用後の試験紙及び採尿容器を廃棄する場合には、滅菌処理を行う、又は廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物又は産業廃棄物など区別して処理してください。

4. その他の注意
本品による測定値は既存製品と高い相関性を示しますが、系統的な誤差を生じる場合がありますので、必要に応じて相関性について検討されることをお勧めします。

【貯蔵方法・有効期間】

1. 貯蔵方法
気密容器、室温保存

2. 有効期間
** Combur テスト 7UX-Ⅱ, 6-Ⅱ及び 3-Ⅱ
** 1 年 9 ヵ月
使用期限(Exp.)は外箱に記載してあります。
** Combur テスト 5L, 5UX, 4, GPS 及び LN
2 年 6 ヵ月
使用期限(Exp.)は外箱に記載してあります。

【包装単位】

各製品の包装(枚数)、測定項目の組合せなどの詳細につきましては【形状・構造等(キットの構成)】の項をご参照ください。

【主要文献】

1) JCCLS 尿検査標準化委員会、尿試験紙検討委員会.「尿試験紙検査法」JCCLS 提案指針(追補版) 尿蛋白、尿ブドウ糖、尿潜血試験部分表示の統一化. 日本臨床検査標準協議会会誌. 2004, 19(1), p.53～54.

*2) 自社データ

**3) ECLM, European Urinalysis Guidelines. Scand J Clin Lab Invest, 2000. 60: p. 1-96.

【問い合わせ先】

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
*カスタマーソリューションセンター
〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70
*フリーダイヤル：0120-600-152

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70
*フリーダイヤル：0120-600-152

COMBUR and COBAS are trademarks of Roche.
COMBUR 及び COBAS は Roche の商標です。